

桑井 リオ決定

女子ラグビー日本代表

「金メダル目標」



日本代表に選ばれ、リオ五輪での抱負を語る桑井亜乃(大賀章好撮影)

【東京】日本ラグビーフットボール協会は29日、都内でブラジル・リオデジャネイロ五輪に臨む7人制の

男女日本代表選手団を発表し、幕別町出身の桑井亜乃選手(26)＝アルカス熊谷

一立正大大学院、中京大、帯農高、幕別中、幕別小出Ⅱが選ばれた。桑井選手は「最高の舞台に進めるのは多くの人の支えのおかげ。体を張って金メダルを目指したい」と意気込みを語った。選手は女子13人、男子14人を発表。女子の浅見敬子ヘッドコーチは「心身ともにタフな13人を選んだ。それぞれ世界と戦える武器、強みがある」とし、五輪での金メダルを目標に掲げた。大会の登録メンバーは

男女とも12人で女子は7月上旬までに固める予定。漏れた選手もリオ入りする。女子代表は30日から7月20日まで札幌市の定山溪を拠点に合宿を行う。

ラグビー競技は五輪で92年ぶりに復活し、7人制は初めて実施する。女子は12チームが出場。3プールに分かれ、日本はカナダ、イギリス、ブラジルと同組となった。競技日程は8月6～8の3日間。(松村賀裕) (17、29面に関連記事)